



144号

9月議会定例会号

あなたと議会を結ぶ情報誌 議会だより

<https://www.town:kanegasaki.iwate.jp/gikai/>

かねがさき

住民目線に立って
ありのままに
わかりやすく
議員の力で
スピード発行



特集

地域防災を考える

双子ちゃんシリーズ
そうま 鳩馬くん あおい 萩ちゃん

カムバック
23

一般質問

どうする 学校給食費の無償化

— 2022 —

令和4年10月20日発行
岩手県金ヶ崎町議会

大水害激甚災害指定へ総力



元金ヶ崎町議會議長
たかはし 高橋 あつし 篤さん
(永岡)

議会は特別委員会を設置して精力的に調査活動を展開しました。

とにかく国の激甚災害指定を受けなければと、農林水産省・大蔵省等に出向き、被害写真を廊下に張り出して窮状を訴えました。おかげで百数億円の復旧費用のほとんどを国費で賄ってもらい、3年経たずに復旧することができました。

未曾有の大災害にもかかわらず、人命が奪われなかった事は、まさに奇跡としか言いようありません。



千貫石溜池があぶない



元千貫石土地改良区工務課長
さとう たかお 孝男さん
(西部)

昭和63年8月29日午前2時頃、強い雨音で目が覚めた時、地元消防団員が来て、千貫石ため池の放流を止めてくれと言われ、これはただ事ではないと思いました。ため池に着いたが、周囲の状況は豪雨で遮られ、何も見えませんでした。また、ため池から洪水吐へ流出する音は地下から響いて来るような轟音で、恐怖を感じました。

この有様では何も対応出来ないと判断し、土地改良区へ戻り、直ちに常務理事に電話を入れ、被害の状況を伝え職員の非常招集について了承をとりました。職員が揃うのを待って現地に向かいました。

現地に到着した時には周囲が明るくなっていて、被害の状況が解り唖然とした事を覚えています。気を取り直し全員で被害状況の確認と現場の保全、安全の確保、被災の増波防止策等の検討を行いました。

あの時 わたしは こう動いた

恐怖と緊張の一夜



元消防団員
うじいえ 氏家 康男さん
(西部)

8月28日夕方から降り出した雨で、千貫石ため池の堤防が決壊するかもしれないというので、私たち消防団は夜通しの警戒を行いました。

町消防団本部から避難準備を促すよう指示があり、地区内各戸に声をかけて回りました。

2回目の指示は暗くなってから、準備ができるか確認するようにとのことでしたが、今までにならない不気味な様子を感じてか、殆どの家が避難をしていました。

避難解除になっても、あまりにも被害が大きく、異様な光景は恐怖としか言いようのないものでした。

有事の備えを



元役場職員
おいかわ てるひさ 晴久さん
(南方)

昭和63年8月、1時間当たり200ミリを超す集中豪雨、平成23年3月の東日本大震災以来、大きな災害の発生はなく、日を追う毎に災害の怖さが薄らいでいます。

集中豪雨発生時、私は消防防災係で、町民の避難や消防団の対応で大変だった事を思い出しました。

当時は、災害に対する対応や避難訓練は充分ではありませんでした。集中豪雨から34年。災害は何時発生するか分からぬことを肝に命じ、有事に備えることが大切であるとつくづく思っています。



議会トピックス④

消防競技県大会へ 7月3日、消防技術の向上と高揚を図るために胆江地区消防競技会が開催されました。当町推薦チームがポンプ車操法で1位・2位、小型ポンプ操法で1位となり県大会への出場を果たしました。町民の生命と財産を守るべく努力している消防団員の県大会での活躍に期待します。

昭和63年8月28日夕方から降り出した雨は、29日まで雷を伴う集中豪雨となって金ヶ崎町西部の山沿いを襲いました。岳山観測所では2日間の総雨量が567ミリとなり、岩手県の観測史上最大の雨量とされています。

千貫石ため池の堤防決壊の恐れがあるとして、下流域の住民731人が一時避難をしました。

宿内川・黒沢川・永沢川・渋川は氾濫し、濁流は穏りの秋を迎えるとしている水田を土砂で押し流し、河川の護岸の決壊、橋梁の流失、道路の損壊など被害総額は約62億5500万円となりました。

幸いにも人的被害は、負傷者1人だけでした。

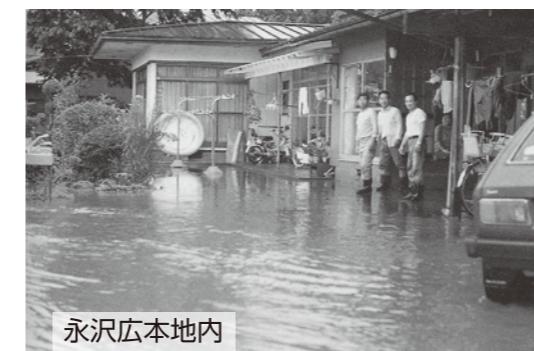
国の激甚災害指定を受け、3年からず完全復旧しました。復旧工事の総事業費は約138億7210万円となりました。



百岡 川原田橋



西根新井田地区



永沢広本地内



写真 「昭和63年8月28・29日集中豪雨による激甚災害の記録」より

昭和22年(1947)9月	カサリン台風
昭和23年(1948)9月	アイオン台風
昭和63年(1988)8月	2つの台風によって金ヶ崎橋をはじめ24の橋が流された。
平成20年(2008)6月	東北地方太平洋沖地震
平成23年(2011)3月	岩手・宮城内陸地震
平成25年(2013)6月	・町の震度5強
昭和5年(1993)8月	・町の震度5強
昭和63年(1988)8月	・岩手・宮城内陸地震
平成20年(2008)6月	・岩手・宮城内陸地震
平成23年(2011)3月	・岩手・宮城内陸地震
昭和22年(1947)9月	・岩手・宮城内陸地震
カサリン台風	・岩手・宮城内陸地震
アイオン台風	・岩手・宮城内陸地震
金ヶ崎橋をはじめ24の橋が流された。	・岩手・宮城内陸地震
2つの台風によって金ヶ崎橋をはじめ24の橋が流された。	・岩手・宮城内陸地震
カサリン台風	・岩手・宮城内陸地震
アイオン台風	・岩手・宮城内陸地震
金ヶ崎橋をはじめ24の橋が流された。	・岩手・宮城内陸地震

戦後
自然災害
金ヶ崎を襲った

34年前町は濁流にのみこまれた



議会トピックス③

平泉から世界へ 6月29日、県が条例制定した平泉世界遺産の日に、町内寺院の僧侶と町民で平和、平等、慰霊、復興を祈念し「平和の祈り」が行われ、議長も出席しました。町内各寺院の僧侶による読経、平泉の児童による「平泉讃歌」の合唱、文化財愛護少年団による世界平和メッセージの朗説など世界に発信されました。某国指導者等にも届いたでしょうか。

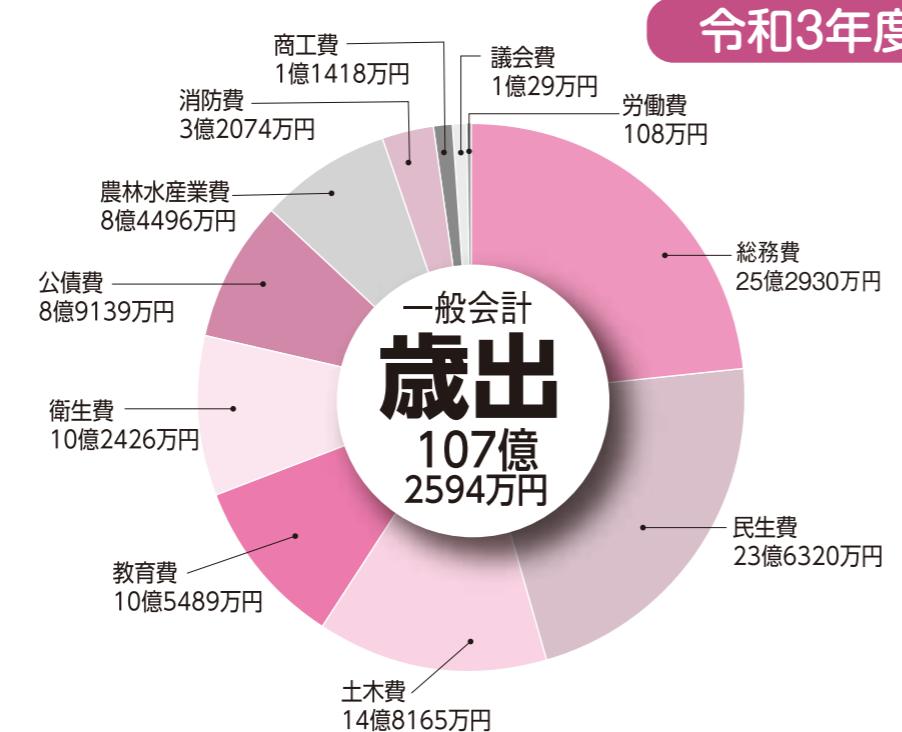
ふるさと応援 寄附金 1億7500万円

監査委員の意見

人材育成、
リスクコントロールの
一層の強化を

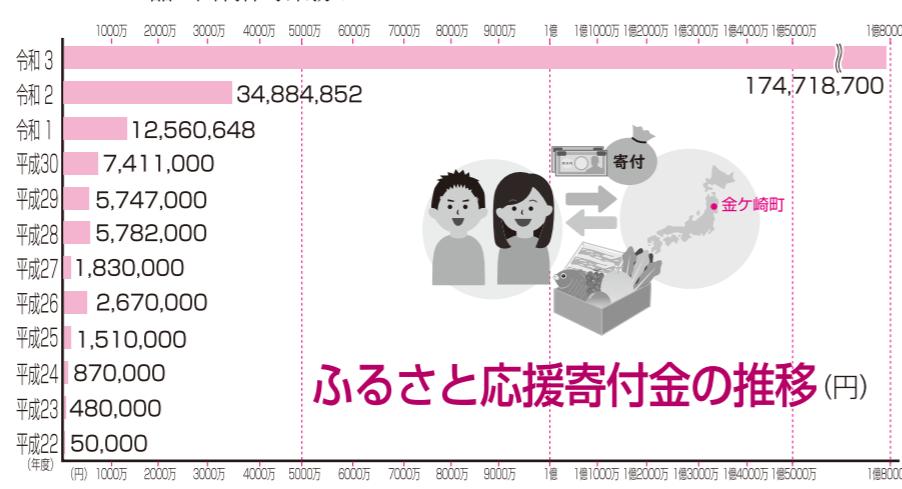


- 情報化の進展に伴う人材育成、企画立案業務の充実、リスクコントロールの強化等、持続可能な行政運営の維持に一層努める必要がある。
- 契約に係る予定価格の算定に当たっては、全庁的取引事例価格等の情報共有を図り、予算がより効率的、かつ効果的に執行されるよう、所要の措置を講じる必要がある。
- 補助金については、事業内容及び支出内容について適正に審査し、補助金が有効、かつ適正に支出され、政策の目的が達成されるよう努める必要がある。
- 事務処理において、システムへの入力漏れ、契約条項の適用誤り、補助金支出に係る適用条項の誤り、定期報告の遅延、謝礼金の支出漏れ等、これら実態を共有し再発防止に努めると共に内部管理体制の一層の強化に努める必要がある。
- 一般会計及び特別会計に係る税等の収入未済額については、徴収の公平性を確保する観点からも債務者との個別面談、財産等の実態把握等により徴収率の向上に努めるとともに、債権管理体制の充実についても検討されたい。

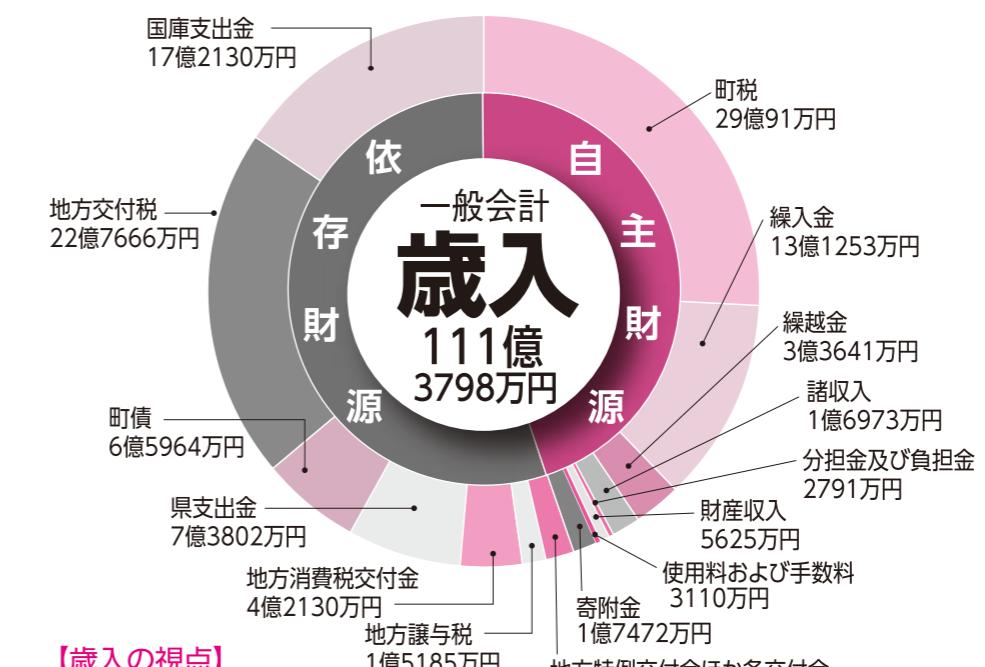


【歳出の視点】

- 総務費…総合行政情報システム運用、財政調整基金積立、田園バス運行など
- 民生費…子育て世帯等臨時特別支援事業、保育園運営委託、介護給付、交通安全対策など
- 土木費…町道野田・前野線、荒巻・南荒巻線の整備、生涯スポーツセンター屋根外壁等改修など
- 教育費…理科教育設備等整備、幼稚園運営委託、南方地区センター駐車場工事など
- 衛生費…感染予防、新型コロナウイルスワクチン接種、健康診査、資源リサイクル推進
- 農林水産業費…米作付農家支援、大雪被災農家緊急支援、有害鳥獣駆除、多面的機能支払交付金など
- 商工費…創業等支援事業補助、キャッシュレス決済ポイント還元事業、土産品企画制作等業務など



令和3年度 一般会計決算



【歳入の視点】

- 町税…町民税の減
- 地方交付税…特別交付税の減
- 国庫支出金…特別定額給付金事業費補助金の減
- 町債…一の台地区法面対策事業や消防屯所建設事業完了で減
- 寄付金…ふるさと応援寄付金の増

400.4%
の増

令和3年度の一般会計の決算額は歳入111億3798万円に対し、歳入の寄附金は、ふるさと応援寄付金が約1億7500万円となり、将来負担比率は0%となり、改善されました。前年の約5倍の増となりました。

令和3年度の一般会計の決算額は歳入107億2594万円となり、歳入の寄附金は、ふるさと応援寄付金が約1億7500万円となりました。

各会計の決算状況と採決のようす

区分	歳入	歳出	採決の結果
一般会計	111億3798万円	107億2594万円	全員賛成
国民健康保険	13億3606万円	13億0682万円	全員賛成
訪問看護ステーション事業	2964万円	2853万円	全員賛成
介護保険	15億4218万円	14億9583万円	全員賛成
国民健康保険診療施設	4億9290万円	4億2762万円	全員賛成
後期高齢者医療	1億4029万円	1億3950万円	全員賛成
岩手中部工業団地内工業用地整備	2799万円	2798万円	全員賛成
計	35億6905万円	34億2627万円	

* 1万円未満が四捨五入のため、合計が合わない場合があります。

区分	歳入	歳出	採決の結果
企業会計	収益的収支(税抜)	3億8672万円	全員賛成
	資本的収支(税込)	1017万円	
下水道事業	収益的収支(税抜)	9億1411万円	全員賛成
	資本的収支(税込)	3億3223万円	

* 資本的収支で収入が支出に対して不足する額については、収益的支出の「減価償却等の非現金支出」(損益勘定留保資金)や前年度からの繰越資金、当年度純利益などで補填しています。

園芸作物新技術実証事業補助金

アスパラガス『採りつき栽培』に挑戦



農事組合法人はらかにさわ
代表理事 はたけやま ひろし
畠山 博さん (永岡地区)

我が法人(構成員16人)は、今秋から始まる圃場基盤整備後に向け、高収益作物の一環として3品目の実証栽培を試みました。昨年は玉ねぎ、今年は加工用トマト。共に、機械で定植・収穫が出来、高齢化や後継者不足対策として魅力があります。

アスパラガスについては、「採りつき栽培実証事業」に取り組み、昨年4月に植え、今年の4月に収穫できました。皆が毎朝交替で収穫しました。どの作物も育つ過程での管理が大変ですが、収穫の喜びは大きいものがあります。



ちょこっくメモ

新たな栽培体型の確立を目的として、金ヶ崎町アスパラガス栽培研究会が主導となって行なった「採りつき栽培」の実証に係る資材等の導入経費を補助した。

金ヶ崎町観光協会運営補助金

駅前に賑わいを



zakka+café KICHI

あさくら ひでか
朝倉 秀佳さん (三ヶ尻地区)

金ヶ崎駅前で町内外の飲食店が出店する「かもん駅前マーケット」とハンドメイド作家が集う「駅前クラフト横丁」が開催され、私も出店しました。町内はもちろん、町外からもたくさんのお客様に来ていただき、駅前が活気に溢れたイベントとなりました。

今後も町の活性化のため積極的に参加し、金ヶ崎町を盛り上げて行きたいと思っています。



ちょこっくメモ

町は、金ヶ崎町観光協会が町内で開催するイベントの運営に対して補助金を出した。令和3年度はコロナ禍のため中止縮小のイベントがあった。

有害鳥獣捕獲等業務委託料

鳥獣被害 自ら守る



いなわしろ まもる
猪苗代 守さん (北部地区)

私が鳥獣駆除を始めたきっかけは、毎年家畜の飼料が被害に遭い、大きな損害を受けていたことです。他人に頼るのでなく自分で守ると決め、猟銃所持許可と猟銃免許を取得しました。

猟友会に入会し、毎年農業被害が発生、人的被害の恐れもあり、「これは誰かがやらなければない事」と実感しました。

しかし、駆除隊員数は少なく、地域の生活を守る為の担い手の確保が大きな課題になっています。

『町のために頑張りたい方 募集中!!』

ちょこっくメモ

鳥獣による農作物及び生活環境の被害防止、軽減を目的として、町猟友会へ有害鳥獣の捕獲等業務を委託しました。

また一步

前进!!

自立のまち

ちょこっくメモ

スワクチンを早期に接種する為、必要な接種体制確保を行った。

ちょこっくメモ

国から供給される新型コロナウイルスワクチンを早期に接種する為、必要な接種体制確保を行った。

おらにもわたしにも言わせて

ちょこっくメモ

子どもが健やかに成長できる環境作りを推進するため「子ども食堂」に取り組む団体に対し、開設等経費及び運営経費を補助した。(福)金ヶ崎町社会福祉協議会・NPOわらすば

ちょこっくメモ

国から供給される新型コロナウイルスワクチンを早期に接種する為、必要な接種体制確保を行った。

ちょこっくメモ

地域おこし協力隊の活動で、誰でも利用できるシェア店舗「Life BASE」が二日町にオープンしました。

ここで私たちは皆が集まり昔話に花を咲かせる場として、地域が活性化できるようにと、居酒屋「金女」を毎週金曜日に開店しました。



共に楽しめる事業で笑顔を



金ヶ崎町商工会女性部
部長 たいら のりこ 紀子さん (街地区)

地域の商工業者が集まった組織である商工会女性部は、地域の発展と私達の商売繁栄を願って活動しています。

2年前より子ども食堂にかかわらせて頂き、今の子ども達が経験した事の無いだろう「ドン菓子」の実演と提供。そして私達のオリジナルメニューである「アスパラ焼きそば」の提供を行いました。

喜んでもらう事、楽しんでもらう事を第一に、共に私達も楽しんでいます。アイディア豊富な部員達と、今後も子どもたちと笑顔でふれあえる事を楽しみにしています。



ワクチン接種ありがとう



たかはし とくいち
高橋 徳一さん (永岡地区)

新型コロナウイルス感染症は、あつという間に世界中に広りました。国では無料でワクチンを接種してくれるという事なので、早く受けたいと思っていました。うれしいことに町では接種日指定の接種券を発行してくれました。

おかげで4回目まで安心して接種を受けさせていただき、ありがとうございました。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息することを願っています。



おいのわ やすこ
及川 靖子さん
おいのわ まりこ
及川 真理子さん (六原地区)

昔は隣り近所で行ったり来たりし、人の会話をたくさんあり、良い時代でした。

皆様と交流の輪を大きく広げたいと思っています。

子ども食堂支援事業補助金

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保補助金

地域おこし協力隊活動費等補助金

今年度から無償に

町長—事業総点検と併行して検討中

町長 学校給食費無償は、高橋寛寿町政誕生の大きな要因であると考えている。町長選後、6ヶ月経過しても実施が明確になっていないのは非常に残念である。

問題 6月議会一般質問後に「実施への明確な答弁がなく残念」「町長選の『目標公約』であり最優先に実施すべき」などの声が寄せられた。多くの町民は、町長選公約の「学校給食無償」早期実施を期待している。

町長 実施には財源の確保が課題である。事務事業の総点検と併行して実施方法や時期を検討している。事業総点検の最大資料である昨年度決算が出た。また、「ふるさと納税」基金(積立金)は2億円を超え、無償化財源(年6000万円)の数年分ある。早くに臨時議会を開いて今年度から実施すべきである。「ふるさと納税」基金活用を含めて実施を検討していく。

下水道料金値上げ見送りを



おいしく栄養豊富な給食作り ご苦労様です

町長 計画では、来年度15%値上げ予定となつていい。ウクライナ危機やコロナ拡大、円安による異常な物価高、米価引下げ、年金削減など、町民生活は厳しくなっている。町民生活は厳しい方向で検討している。

20～21年度の2カ年で約1億4000万円の純利益があつた。物価高騰における町民生活も考慮し、値上げは実施しない方向で検討している。

食品加工工場による悪臭防止

町長 東町団地の一部住民から、食品加工工場からの悪臭がひどいときがある。行政指導を強化してほしいという声が寄せられた。

町長 今回の処遇改善は、介護保険料を見直すことなく、介護給付費準備基金の活用により対応できる。

問題 今年度、国の財源措置として、「住宅密集地の除雪体制強化を」という答弁があつた。住宅密集地の排雪体制はどうなる予定か。

町長 住宅密集地は、早めに排雪を実施できる体制を構築すると共に、年度内に複数回の排雪を実施し、除雪がスムーズになるよう改善する。

問題 今定例会の傍聴者14人

町長 地域及び会社と情報のやり取りをしっかりと行いながら、対応していく。

一般質問は、議員が行政全般にわたって、執行機関に対して施策の状況や方針等に説明を求めるものです。議員にとってはもっと大事な発言の場です。質問事項は執行当局に事前通告します。持ち時間は1人60分です。質問の様子は、質問をした議員が自ら原稿を起こしたものをお掲載しています(一人1ページ)。今議会は4人の議員が登壇しました。

どうする

学校

給食費の無償化

- ① 学校給食費無償化
- ② 来年度の下水道料金値上げ見送りを
- ③ 住宅密集地の除雪体制強化を
- ④ 食品加工工場による悪臭防止
- ⑤ 介護施設の職員待遇改善継続を

【質問の背景】 町長選公約である学校給食費無償化を今年度中に具体化すべきと考え、6月議会に続け質問した。



阿部 隆一 議員

- ① ため池転落事故防止
- ② 町地域づくり協働補助金事業審査基準
- ③ 町民健康づくり活動について



千葉 良作 議員

- ① 町政への関心事
 - (1) 苦情は宝
 - (2) 除雪
 - (3) 給食費の無償化

【質問の背景】 町政と町民との認識のズレが少なくなることを期待する。



平 志乃 議員

- ① 指定管理者制度の問題点と指定管理者の状況は

【質問の背景】 指定管理者制度のどこかに問題があるので。



及川 権一 議員

◆ 質問事項が多い場合に、質問に対する1回目の答弁だけで相当の時間を要するため、掘り下げる質疑が出来てないのが残念です。
(60代 男性)

傍聴しました

町政への関心事

町民の望む 積極的な施策を

町長——声に耳を傾け 政策を推進

つぶやき…
物価高、エネルギー高騰など、懐が寒さを増しています…。

たいら
平 志乃 議員

ひとくちメモ

金ヶ崎町の学校給食
昭和40年 現診療所の地に給食センター設置。
平成15年 森山に給食センターを移転新設。

食器も時代と共に変わってきました。



雪があると道幅は半分に



雪の捨て場も無い 排除雪は早くしてほしいですネ



食器も時代と共に変わってきました。

問 給食費無償化の目的は。
町長 人口減少を食い止めるため子育て支援を充実し、子育て世代及び若者の定住化に繋がると考える。県内の他の市町村において、給食費無償化を実施した効果はあったか。
問 効果を指標等により表している例はないが、住民から「家計が助かる」との声が寄せられている。

問 事故が起きた7月23日は前日に降った雨と当日の小雨で地盤は軟弱になっていた。痛ましい事故にあれた若いお二人は長志田地区の種々の活動の中心者であり、家庭の大黒柱であった。心よりお悔やみを申しあげる。今後、このような事故を絶対に起こさないための対策について質問とらっていたか。

町長 土地改良区で管理しているため池は何箇所か。ため池40箇所の内29箇所である。

問 安全対策はどのようにとらえていたか。

町長 多面的機能支払交付金活動組織であれば注意喚起にかかる通知文書や安全パンフレットなどを定期的に送付している。今回の事故は本当に残念な結果であり、今後安全対策の徹底に向けてさらなる取り組みが必要である。

問 事故発生に対しても補償は。

町長 多面的機能支払交付金活動組織であれば活動組織が損害保険に加入することになっている。アドプロト協定締結団体の場合には土地改良区が加入して、その補償に当たっている。

問 高齢化が進む中、このようなため池管理に当たる人数は減少していくと考えられる。ますます若い

の補償に当たつている。

問 なぜなら、

は。

※所管事務調査とは
常任委員会が、その部門に属する当該地方公共団体の事務を調査しています。

産業建設常任委員会

— 城堰川の安全対策 —

- ガードパイプ1箇所設置済み。フロート付救護パイプ及びステップ3箇所、侵入禁止看板1箇所の設置を協議中である。
- 危険箇所が散見されるので、安全対策の強化を望む。



— 町道荒巻・東町線 —

- 県道久田笠長根線との交差点への信号機設置がなされていない。
- 信号機・横断歩道の設置の要望を望む。

— 岩手県南広域クラーステーション —

- 施設は4月から稼働しており、町貸付地は目的に沿って活用されている。



— 町道一ノ越戸・吉田沢線 駒丘地区 —

- この路線は早急に修繕が必要な状況であり、事業の前倒し実施を望む。



委員長
高橋 美輝夫

人命に
早急な対応
をは
かりません。
お二人が亡くなるとい
う痛ましい事故が起
ました。水路や道路な
ど人命に関わる安全対
策に「やりすぎ」とい
うことはありません。早
急な対応を望みます。

総務教育民生常任委員会

— 子ども食堂への支援 —

- 町の補助金交付は妥当
- 更なる福祉の増進に向け、支援の手を差し伸べる取組みをされたい。



— 学校給食センター調理委託 —

- 衛生管理の徹底や危機管理、食育活動への積極的な協力等がなされている。
- 残さず食べてもらうため、子どもたちの声を聴きながら、質の高い給食の供給に取り組むよう努められたい。

— 南方地区生涯教育センターグラウンド —

- 住民の意見を聴き、今後の土地利用についての方向性を早期に示されたい。



— 「大林城跡」管理状況 —

- 歴史的資産としての活用が広く町民に伝わっていない。
- 案内板や散策路などの環境整備等、具体的な活用と保全に努められたい。



委員長
及川 みどり

どの子も健やかに成長してもらう為に、町の支援の取組みは欠かせないものです。給食も経費がかさみ大変な時ですが、質を落とすことなくおいしいものを提供してほしいものです。

金ヶ崎のここが聞きたい

一般質問

指定管理者制度

指定管理者制度を利用していく、数多くの施設の運営を各種団体に委託しているが、毎回ほぼ同じ団体が管理者となり、委託料もほとんど変わっていない。どのように決定しているのか。

指定管理者制度は、平成17年度の金ヶ崎町民菜園パークよりスタートして、現在20施設で活用して

いる。民間事業者のノウハウを活用することにより、施設管理経費の削減やサービスの向上をはかり、利用者の満足度や利用率を上げるよ

う期待する。

指定管理者制度は、平成17年度の金ヶ崎町民菜園パークよりスタートして、現在20施設で活用して

いる。民間事業者のノウハウを活用することにより、施設管理絏費の削減やサービスの向上をはかり、利用者の満足度や利用率を上げるよ

う期待する。

問題点と現況は

経費が削減された

つぶやき…
民間の活力を生かし、
経費削減しているとい
うが、なんか納得がい
かないんだよなア…

おいかわけんいち
及川権一 議員

ひとくち
メモ

指定管理者制度
体に限定していた公の施設の管理・運営を、
株式会社はじめとした営利企業・財団法人
代行させる事ができる制度。平成15年9月に
施行された。

・NPO法人・市民グループなどに包括的に

運営される事

ができる制度。平成15年9月に

施行された。

た。

議員力を見分に

8月26日、議会運営委員会が開かれました。

9月定例会の進行について話し合いまし

た。議運の決定事項は議員は守らなければなりません。議員が充分に議論を交す事ができるようリードする

のも議運の役目と思います。悔いのない定例会にしたいものです。

令和3年度指定管理委託料一覧表

管 理 施 設	指 定 管 理 者

姉妹都市締結20周年

議場で記念式典

空路13時間の長旅を
ものとせず 皆さん議場に入場



はしの使い方 むずかしいですね
ナタリエさん(左) 広報・観光・文化部長



六原鬼剣舞の勇壮な舞を見て 大興奮



44歳の
若き新市長は
2児のパパ



主事
大久保 薫

令和4年8月22日付
で、総務課より着任しました

議会事務局
職員の人事異動

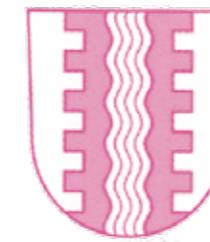
議会映像配信 パソコンやスマートフォンで 情報が得られます。

市民の皆さんに、議会と町政に関心を持っていただきため、議場での本会議等の映像をインターネット（ライブ中継および録画映像）で配信しています。議場に来ることができない方も、パソコンやスマートフォンで、一般質問等や町政に係る重要な情報が観られます。

[金ヶ崎町ホームページ](#)

[金ヶ崎町議会](#)

検索



ライネフェルデ・ヴォルビス市
Guten Tag (こんにちは)

ライネフェルデ・ヴォルビス市

金ヶ崎町

金ヶ崎町とドイツのライネフェルデ・ヴォルビス市との姉妹都市提携20周年を祝した記念式典などに出席のため、同市の訪問団（クリスティアン・ツヴィンクマン市長をはじめ6人）が9月30日来町しました。

記念式典は、役場4階の議場で行われ、両市町の交流の歩みを振り返りながら、更に友好を深めていくことを願いました。

式典のアトラクションには、認定子ども園南方幼稚園の園児が金ヶ崎太鼓を披露し、可愛いハッピ姿に訪問団の皆さんも笑顔で拍手を送っていました。

一行は10月4日まで滞在し、金ヶ崎小学校で授業を参観し、子ども達とのふれあいの時間をもちました。また、トヨタ自動車東日本（株）岩手工場を視察しました。

町外では、平泉町の世界文化遺産の見学、東日本大震災で被災した陸前高田市・大船渡市を訪れました。



心をこめて演奏しました ぼくも わたしも 大きくなったら ドイツに行くぞ!!

この研修を共有し、伝わる広報を目指します。

3人の講師の個性が光る講義でしたが、それぞれの講義の中に「伝わる広報」という共通性がありました。広報コンクール上位3議会の広報誌の実例解説は分かりやすく、「伝わる」ということではなく、「伝える」ということを実感することができます。

研修日 令和4年9月20日
会場 (東京都)
シェーンバッハ・サボー^(議会広報ファシリテーター)
越地真一郎氏
後藤紳一^(熊本大学客員教授)
及川権一^(他2人の講師)
平志乃^(議員)
参加者

令和4年度
町村議会広報研修会
伝わる広報を

ひがつと
ひかる



シリーズ74



子どもたち 守る一声

高橋正人さん

(南方地区)



谷地下公民館前の横断歩道で、毎朝登校する児童らの見守り安全指導を行っています。この場所を横断する児童は約90人。朝夕は交通量が多く、穏やかなカーブがあり危険な箇所です。

退職を機に、安全な地域作りへの想いから金小スクールガードの一員となり、雨の日も、風の日も、あいさつを交わし続けて15年半。子ども達も「いつも見守ってもらって安心です」とニッコリ。

下校時間帯は、町教育委員会の委嘱でスクールガード・リーダーを務め、青色回転灯付き専用車両で各小学校を廻り、**あいさつを軸**に町内の子ども達の安全を守っています。

現在工事中の町道野田・前野線が完成し、通学路が整備され、子ども達の安全が確保されるまでは活動を続けたいと思っています。



おはよう！ 気をつけてね きょうも笑顔で 声掛けします



前回125号に登場しました。

ザリガニ取りに熱中する二人です。

おかあさんのメッセージ
男女の双子ですが、小さい時からいつもくつつ
いている、とっても仲良しの一人です。

小学2年生になつて勉強が少しづつ難しくなつ
てきましたが、お互いに教え合い、協力して宿題
をするようになりました。

気が強いけど甘えん坊の葵。とても気が付いて
優しい颶馬。毎日見ているのに、ちつとも飽きま
せん。

けんかをしながら、いつまでも仲良く、健康第一
で成長していくほしいです。（小原沙織）

元気いっぱい回る高谷野の小原颶馬くんと葵
ちゃんです。
西小学校の2年生になり、中学1年生のお兄さ
ん翔くんと仲良く遊んでいます。

外遊びが大好きな自然児

（表紙の写真によせて）

次号（第145号）は、令和5年1月発行
予定です。12月議会定例会の内容を中心にお伝えいたします。

次号のお知らせ



チームワークで伝わる広報を！

委員長
副委員長
委員
及川 平
高橋 美輝
権志乃
阿部 典子
及川みどり
高橋典子
青木 律
後藤 純
伊藤 雅章
（発行責任者）
（平 壱乃）

議会広報常任委員会
私たちが編集しました

大型台風の後の急速な気温の変化に老いを感じ、コロナ禍に怯え世界の変化を身に染みながら、わが町の健全な姿に安らぎを覚えます。（青木 優悦）

編集後記



議会だより かねがさき
第144号

発行／岩手県金ヶ崎町議会
編集／議会広報常任委員会
印刷／(有)北胆印刷

住所／〒029-4592 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根南町22-1
TEL 0197(42)2111 FAX 0197(42)2103
ホームページアドレス <https://www.town.kanegasaki.iwate.jp/gikai/>